

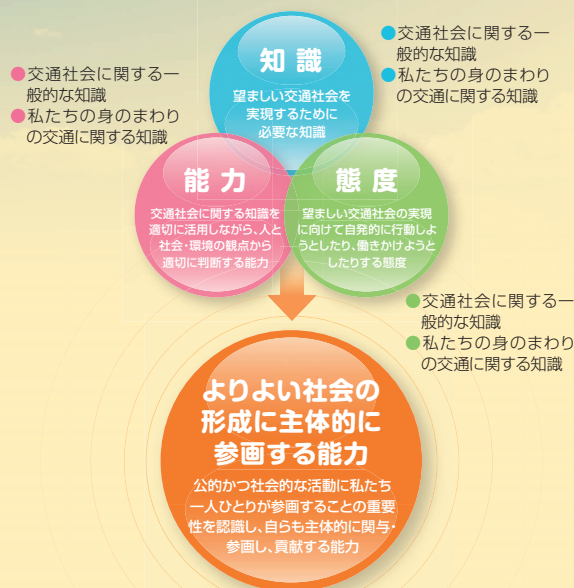
モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習)の普及

岡本 英晃：交通エコロジー・モビリティ財団
唐木 清志：筑波大学大学院人間総合科学研究科
藤井 聡：京都大学大学院工学研究科

「モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)」とは、私たち一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育てる(力を育む)ことを目指した教育活動を指す。モビリティ・マネジメント教育はこれまで、主に交通行政において推進されてきた「学校教育モビリティ・マネジメント」として様々な地域で推進されている。

交通エコロジー・モビリティ財団では、学校教育関係者の方々にモビリティ・マネジメント教育を知っていただき、取り組んでいただくために、モビリティ・マネジメント教育で育成される能力や授業事例、教科・領域との関連性などを取りまとめた「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」(教育宣言)を発行した。また平成22年度から、モビリティ・マネジメント教育に取り組む学校への支援制度を開始した。

モビリティ・マネジメント教育によって育まれる モビリティ・マネジメント力



授業事例

①「地域の公共交通」について考える授業

バスや鉄道といった公共交通に関連した問題を取り上げ、その改善について考えます。

- 学習例**
- 道路や駅などを題材とした地域学習
 - 環境学習
 - バスや鉄道が「廃止」になったらどうなるか考える学習
 - 朝のラッシュ時を題材とした学習

②「クルマ社会」につちえ考える授業

クルマの利便性と環境問題といった問題を取り上げながら、かきこくクルマとつきあう方法を考えます。

- 学習例**
- 環境学習
 - 地域の交通渋滞や安全などを考える学習

③「交通まちづくり」について考える授業

私たちのまちを良くしていくために、どのような交通の在り方が望ましいかを考えます。

- 学習例**
- 道路や駅などを題材とした地域学習
 - まちのにぎわいや安全を題材とした学習

④「モノの流れ」について考える授業

モノの流れを理解しながら、日常の買い物などの行動について考えます。

- 学習例**
- フードマイレージ

小学校社会科におけるモビリティ・マネジメント教育と関連性が強い内容

学 年		内容及び単元事例
第3学年 第4学年	地域学習	(1) 身近な地域の様子：身近な地域の交通の様子、バス路線と地域と地域のつながり (2) 生産や販売：商品の仕入・生産物の出荷と交通の役割、働く人の通勤圏と移動手段 (3) 飲料水・電気・ガス・廃棄物処理 (4) 災害や事故の防止：災害による交通への影響、交通事故危険箇所と道路整備の問題点 (5) 人々の生活の変化と地域の先人の働き：昔から残るまち、生活の変化と交通の発展 (6) 県(都・道・府)の様子：交通網の整備と県(都・道・府)の発展
第5学年	国土・産業学習	(1) 国土の自然などの様子 (2) 我が国の農業や水産業：生産地と消費地を結ぶ運輸・交通の役割 (3) 我が国の工業生産：環境に配慮した自動車の生産、工業生産を支える運輸・交通の役割 (4) 我が国の情報産業や情報化した社会
第6学年	歴史・政治学習	(1) 我が国の歴史 (2) 我が国の政治の働き：環境に配慮した交通まちづくり